

# 2回戦

12年秋季リーグ  
第6週・10月10日  
2勝0敗

## 亜大V阻んだ！

勝ち点3で、最終節へ

# ☆ 駒大 8-1 青学大

駒大 000 004 400 8  
青学大 000 000 001 1

(7)中谷	500
(8)小林	310
(5)下川	421
H5前田	100
(6)白崎	421
(9)江越	300
(3)福山	312
3古市	000
DH齋藤	211
HD東	101
RD藤原	000
(2)戸柱	312
(4)砂川	400
計	3388

▽二塁打=白崎、下川

	回	打安責
○栗林	7	2530
片山	2	911



【右】戸柱は追加点で栗林を後押し  
【左】2勝目を挙げた栗林



初回、単打の連打が続くものの、あと1本がでない。先発・栗林は「調子はよくなかったが今日もみんなに助けられた」と振り返るような投球だったが、3つの四死球を除く被安打3に抑えた。また、5回表に走塁ミスが出ると、その直後の裏に安打で出塁され、雰囲気が一時的に淀んだものの、連携の取れた併殺で盛り立て、互いを援護する場面も見られた。そして試合は同点のまま

優勝の可能性が懸かる一戦。相手のミスを突く好機での集中打で勝利を手にした。先発・栗林(経4)は調子が上がらずとも被安打を3に抑える投球で勝ち点3を奪取した。

迎えた6回に動く。四球で小林勇登(経4)が出塁し、俊足を生かして2盗、そして「ボール球だったが気持ちで打ち込んだ」と話した4番・白崎(法4)の気迫の込められた痛烈な左越適時二塁打で先制した。その後も3者連続四球で出塁すると戸柱(恭孝)(経4)の適時打もあり、押し出しを含め一挙4点を追加した。7回にも相手投手はいまいち煮え切らない。四球が続き、下川知弥(営2)と福山(亮)(経2)の集中打でしっかりと四点を追加し、試合を決めた。終わってみれば8対1の圧勝。勝ち点3を手にし、優勝の可能性を持ったまま最終節へ向かう。

文=五十嵐秋音  
写真=池田初

練習中から自分の姿は見せてきたつもり。  
プレーで下に何か残せるように。  
(戸柱)

